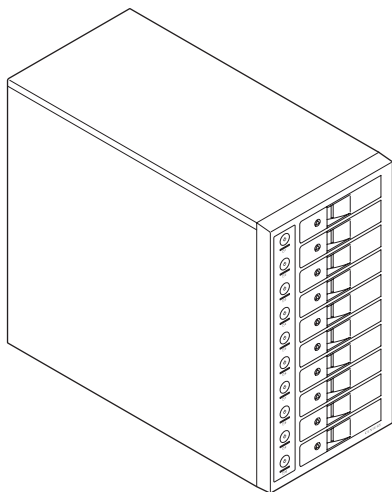
Century Corporation User's Manual

裸族のスカイタワー 10Bay

CRST1035EU3
取扱説明書

【はじめに】

このたびはCRST1035EU3をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意】＜必ず守っていただくようお願いいたします＞

・ご使用の前に、安全上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守って頂くようお願いいたします。
■ 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。
また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠注意

■設置場所に関しての注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
・火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
・直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに …… i
■ 安全上のご注意 …… i
■ 制限事項 …… 1
■ ご使用の前に …… 1
■ 製品説明 …… 3
・本体 …… 3
・裸族のインナー（付属品） …… 7
■ HDDの組み込み方法 …… 9
■ 2.5" SATA HDD/SSDの取り付け方法 …… 15
■ 本製品への『裸族のインナー』のセット方法 …… 16
■ PCとの接続方法 …… 17
■ 使用するHDDを選択し、電源を投入する …… 18
■ ステータスLEDについて …… 21
■ 領域の確保とフォーマット …… 23
・Windows 8、Windows 7、Windows Vistaの場合 …… 23
・Windows XPの場合 …… 29
■ ハードウェアの取り外しについて …… 35
■ Macでの使用方法 …… 37
■ トラブルシューティング …… 39
■ FAQ …… 43

【制限事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。

・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。

・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。

・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

・本製品はSATA HDD専用です。パラレルATA（IDE）HDDは使用できません。

【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。

・Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

・Mac は Apple Inc. の登録商標です。

・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

⚠注意　静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA HDD/SSDの取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

【製品説明】

本体

▍製品仕様

■商　　品　　名：裸族のスカイタワー 10Bay
■型　　　　　番：CRST1035EU3
■インターフェイス
　□デバイス側：SATA Ⅰ/Ⅱ/1.5Gbps/3.0Gbps
　□ホスト側：【USB】USB3.0 【eSATA】SATA Ⅱ 3.0Gbps
■冷却ファン仕様：14cm角　1400rpm ±10%
　　　　　　　　　ノイズレベル 34dB　※冷却ファン単体での計測値
■寸　　　　　法：幅 179 × 高さ 330 × 奥行 385mm（突起部含まず）
■重　　　　　量：約 6,000g（ドライブ含まず）
■温　度　・　湿　度：温度 5～35℃・湿度 20～80%
　　　　　　　　　（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■電　源　仕　様
　□入　　　　力：AC100V ～ 240V
　□出　　　　力：300W
　□8cmファン搭載：回転数 2,100rpm ±10%、ノイズレベル 27.1dB
　　　　　　　　　※冷却ファン単体での計測値

＊本製品にHDDは含まれておりません。

▍製品内容

□CRST1035EU3 本体
□専用USB3.0ケーブル
□専用eSATAケーブル
□専用ACケーブル
□ドアロックキー
□取扱説明書/保証書

〈同梱品〉
□裸族のインナー ×1セット

CRST1035EU3 本体

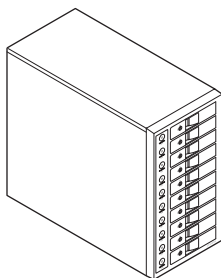
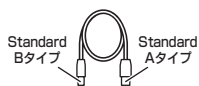
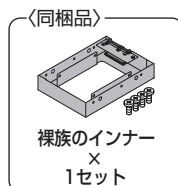
専用USB3.0ケーブル

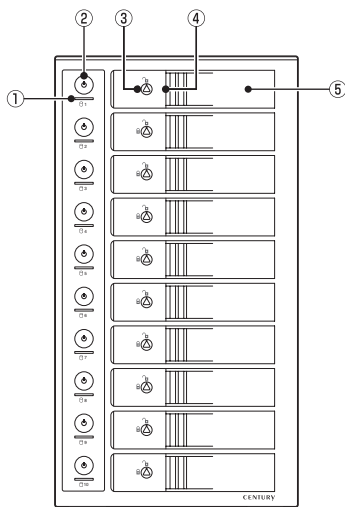
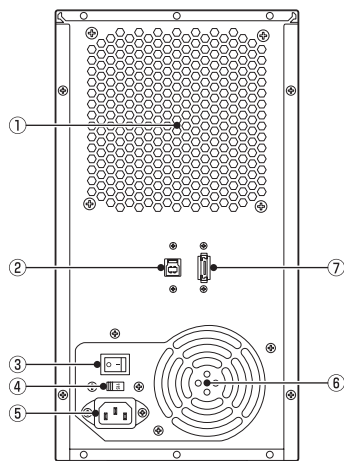
専用eSATAケーブル

専用ACケーブル

ドアロックキー

取扱説明書/保証書

〈同梱品〉
裸族のインナー
×
1セット

▍各部の名称

〈前面〉

〈背面〉

①ステータスLED
②HDDセレクトスイッチ
③ドアロック
④取出し用ラッチ
⑤フロントドア

①14cm冷却ファン
②USB3.0コネクタ
③メイン電源スイッチ
④電圧切替スイッチ※
※使用しません。

⑤ACコネクタ
⑥電源ファン
⑦eSATAコネクタ

【製品説明】

本体

対応HDD

■3.5" SATA HDD（SATA Ⅰ/Ⅱ/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps）

※本製品はSATA HDD専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。

※本製品は6Gbpsに対応していますが、インターフェイス側がSATAⅡ 3.0Gbpsのため、転送速度は3Gbpsが上限となります。

※4TBまでのHDDで動作確認を行っております（2012年9月現在)。
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※Windows XPではOSの制限により、2TBより大きいサイズのHDDを扱うことができません。

※eSATA接続で4TB HDDを使用する場合、eSATAホストが4TB HDDに対応している必要があります。

※出し入れの際、HDDに微細な傷がつく場合があります。あらかじめご了承の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

対応機種　※2012年9月現在

USB接続

Windows

■USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）

■CPUクロック2GHz／メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※sis7000/7001/7002.PCI to USB Host Controller 搭載PCは、USB Host Controller の問題で正常に動作しない可能性があります。

Mac

■USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したMacBook Pro、MacBook Air

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したintel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。
USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

●動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

・intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
・ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
・Frescologic FL1100 USB3.0 ホストコントローラ
・Asmedia Asm1042 USB3.0ホストコントローラ
・RENESAS(NEC) μPD720200/202 USB3.0ホストコントローラ

※各ホストコントローラのドライバは最新の物をご使用ください。
※VLI VL800 USB3.0ホストコントローラでは動作しませんので、あらかじめご注意ください。

eSATA接続　※Windowsのみ対応、Macには対応しません。

Windows

■ポートマルチプライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

※HDDを10台認識させるためには、ポートマルチプライヤー対応のeSATAインターフェイスが必ず必要になります。
ポートマルチプライヤー非対応のeSATAインターフェイスに接続すると、HDDは1台しか認識されません。

※使用するeSATAインターフェイスによってはHDDを10台認識できない場合があります。あらかじめご了承ください。

●動作確認済みeSATAホストインターフェイス

・SiliconImage Sil3132 eSATAホストインターフェイス※
・Asmedia ASM1061 eSATAホストインターフェイス

※RAIDユーティリティには対応しません。

対応OS　※2012年9月現在

Windows

■Windows 8（64/32bit）

※Windows 8 Release Preview にて動作確認済み

■Windows 7（64/32bit）

■Windows Vista（64/32bit）

■Windows XP（32bit SP3）

※Windows 95 / Windows 98 / Windows 98SE / Windows 3.x / Windows NT / Windows Me / Windows 2000では動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態にしてご使用ください。

Mac

■Mac OS 10.8 / 10.7.4 / 10.6.8

【製品説明】

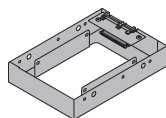
裸族のインナー（付属品）

製品仕様

■商　　品　　名：裸族のインナー
■型　　　　　番：CRIN2535
■寸　　　　　法：幅 101 × 高さ 25.4 × 奥行 146mm（突起部含まず）
■重　　　　　量：約 160g
■温 度 ・ 湿 度：温度 5～35℃・湿度 20～80%
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）

製品内容

■裸族のインナー 本体

■裸族のインナー用
HDD固定用ミリネジ（4本）

裸族のインナー 本体

裸族のインナー用
HDD固定用ミリネジ

対応HDD/SSD

■12.5mm厚までの2.5" SATA HDD/SSD（SATA Ⅰ/Ⅱ/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps）

※本製品はSATA HDD/SSD専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。
また、左右からネジ止めできないタイプのHDD/SSDは取り付けできません。

※1.8インチ、ZIFコネクタ、Micro SATAコネクタ、PCIe接続、3.3V駆動、12V駆動およびSATA接続以外の特殊形状HDD/SSDは使用できません。

※2.5" HDD/SSD取り付けのため、プラスドライバーが必要になります。

※2.5" HDD/SSDの取り付け方などについては、P.15【2.5" SATA HDD/SSDの取り付け方法】をご参照ください。

※2台以上の2.5" SATA HDD/SSDをご使用の場合は、別途「裸族のインナー」を必要台数分、お買い求めください。

本製品からのOS起動に関して

本製品はUSB3.0接続時のOS起動には対応していません。
eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、むき出し＝裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。
しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。
また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

【HDDの組み込み方法】

■HDDを接続する前に

⚠警告 ・HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■本体の設置、移動について

・本製品を設置する際には、ｉページ【安全上のご注意】を守り、安定した場所に設置してください。
HDDを10台セットをした場合、製品全体の重さが**12kg前後**となり、倒れたりすると非常に危険です。
机の上などに設置する場合は、机の耐荷重以内であることを必ずご確認ください。

・設置後に本製品を移動する場合、HDDをすべて取り外してから移動するようにしてください。
HDDを取り外さず、セットしたままで移動する場合は、必ず**2名以上**で周囲に注意をしながら移動を行ってください。
落下してけがの原因となることがあります。

■組み込みの前に

・HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。

・HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

⚠注意 ・フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

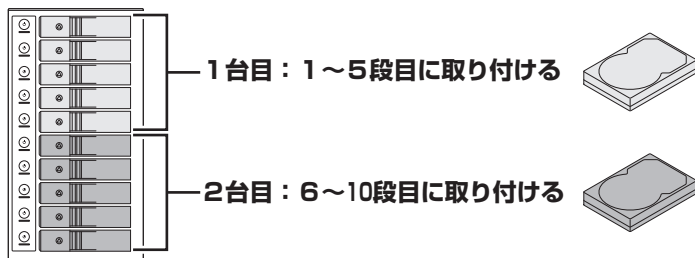
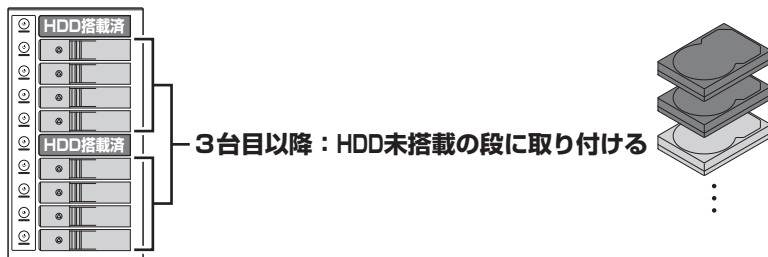
※注意

既にデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。

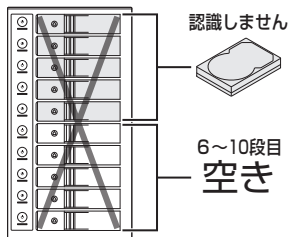
■HDDの接続順について

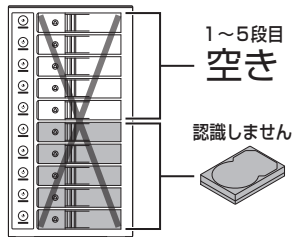
本製品を使用してHDDをPCに認識させるためには、HDDが**最低2台必要です。**
HDD１台のみでは認識しませんのでご注意ください。

・本製品にHDDを取り付ける際には、次の図のように取り付けを行ってください。

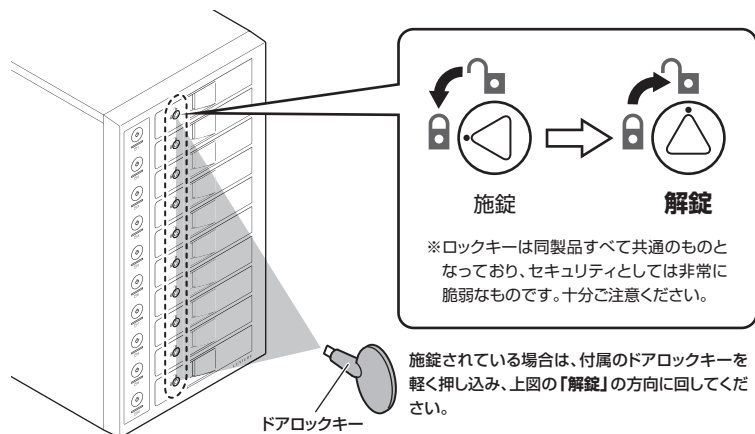
【例１】HDD２台で使用する場合

【例２】HDD３台以上で使用する場合

・次の図のように取り付けを行うと、HDDが認識されませんのでご注意ください。

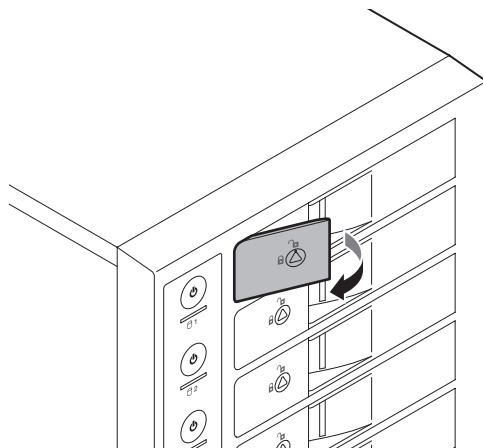
【例１】

×．１～5段目のみにHDDを取り付ける

【例２】

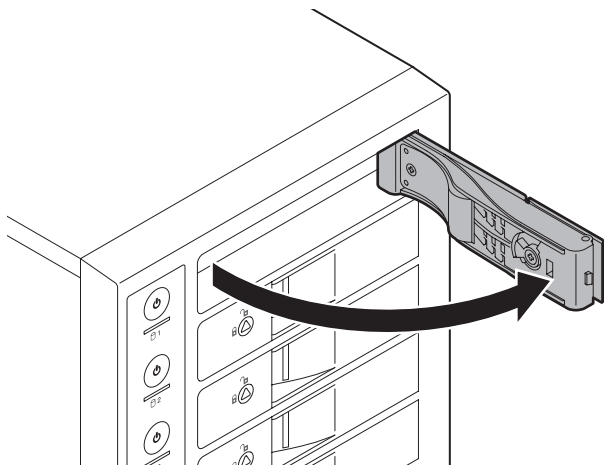
×．6～10段目のみにHDDを取り付ける

【HDDの組み込み方法】

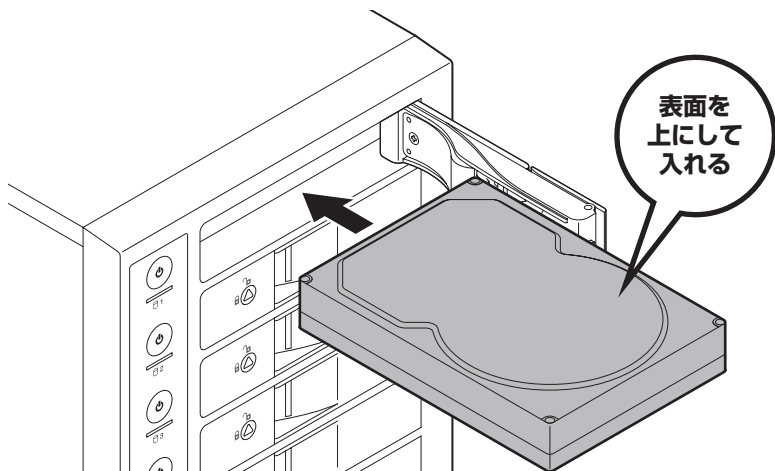
■HDDの取り付け方

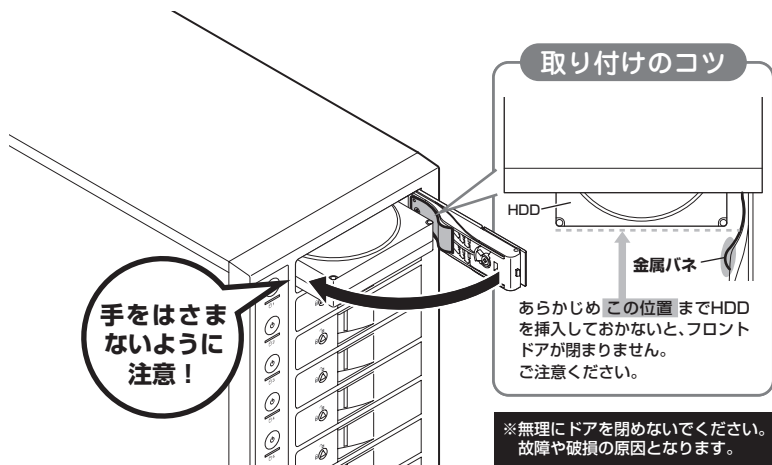
1. フロントドアのドアロックが解錠状態（マーク）にあることを確認します。

⚠注意　・HDDやドア等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

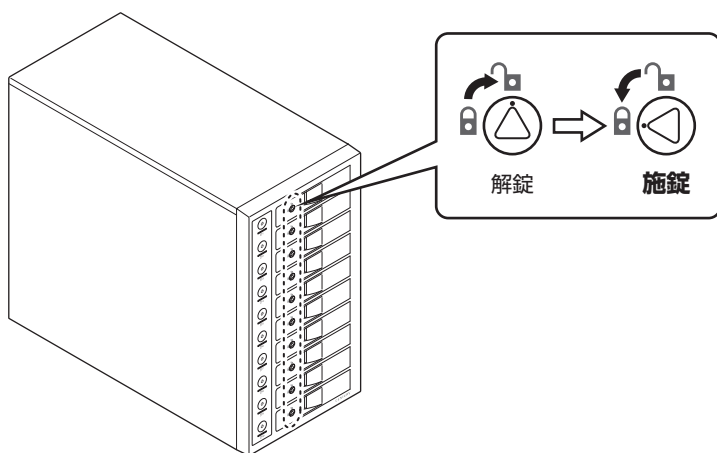
2. フロントドアの取出し用ラッチを手前に引きます。

⚠注意

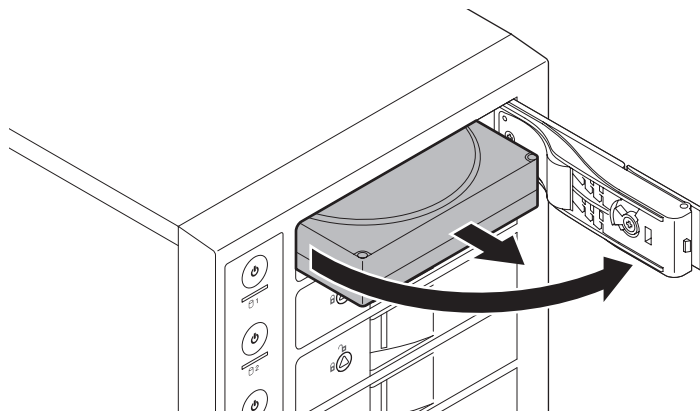
◎必要以上に力をかけすぎると、故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

3. フロントドアを開けます。

⚠注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

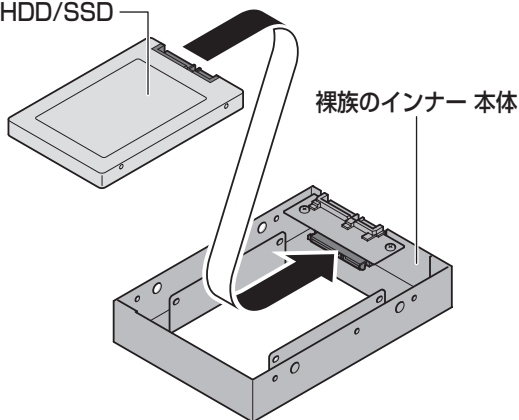
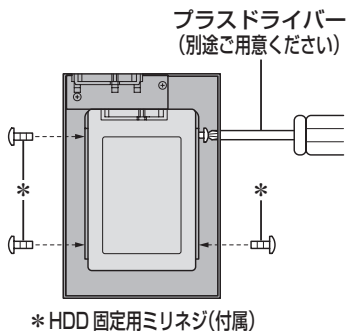
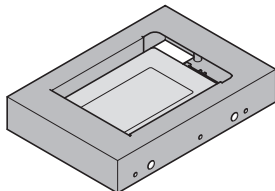
4. HDDの表面を上にして筐体にゆっくりと入れ、軽く当たったところで止めます。

【HDDの組み込み方法】

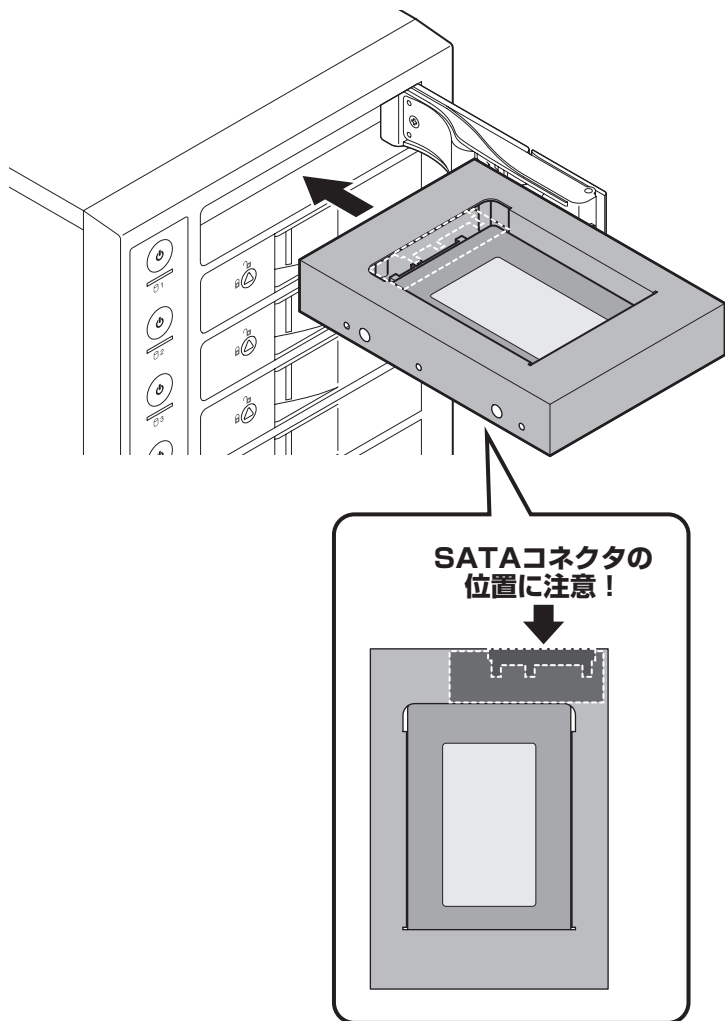
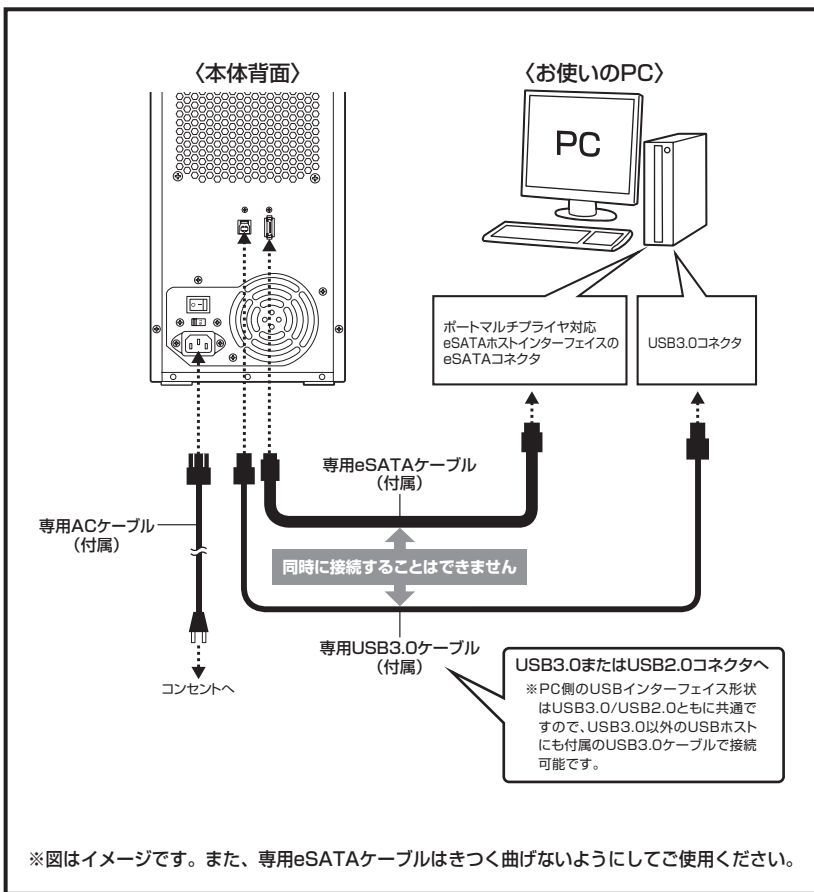
5. HDDがフロントドア内側の金属バネより奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。

⚠注意　・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

6. 下段もそれぞれ同じようにセットして完成です。
安全のため、長時間ご使用になる場合にはドアロックを施錠してご使用ください。

●取り出す場合は？

取り付けたときと同じようにフロントドアを開けると、中のHDDがコネクタから外れて前へ押し出されます。
そのままHDDを手で引き出してください。

⚠注意	・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【2.5" SATA HDD/SSDの取り付け方法】

1. 裸族のインナー本体を裏向きにして置き、基板とHDD/SSDのコネクタを図のように接続します。

2. 付属のHDD固定用ミリネジで、本体とHDD/SSDを左右から４箇所ネジ止めします。
最後に本体を表向きにして完成です。

【本製品への『裸族のインナー』のセット方法】

2.5" SATA HDD/SSDを『裸族のインナー』に取り付け後、図のように本製品にセットします。

【PCとの接続方法】

～ eSATAポートマルチプライヤーとは～

eSATAポートマルチプライヤーは、SATA規格のひとつです。
従来SATAはホストとデバイスを1対1でつなぐことしかできませんでしたが、ポートマルチプライヤー機能を使用すると、1本のeSATAケーブルで最大10台までのeSATA機器を認識させることができます。
また、ホスト側がポートマルチプライヤーに対応していない場合、デバイス側がポートマルチプライヤー対応で複数のHDDを搭載したとしてもHDDは1台しか認識されません。

【使用するHDDを選択し、電源を投入する】

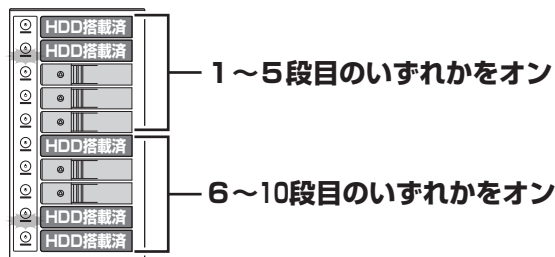
本製品は組み込んだHDDごとに対応する「HDDセレクトスイッチ」を搭載しています。
HDDを10台搭載していても、使いたいHDDのみを組み合わせて電源を入れることができます。
次の手順で使用するHDDを選択します。

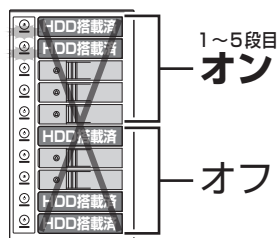
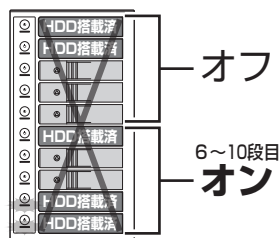
⚠注意

- **本操作は必ずメイン電源スイッチが「オフ」の状態で行ってください。**
  メイン電源がオンの状態で本操作を行うと、HDDが破損するおそれがあります。
- **PC認識後に他のHDDを選択する場合は、必ずハードウェアの取り外し処理を行い、メイン電源スイッチをオフにしてから行ってください。**
  →P.35【ハードウェアの取り外しについて】
- **本製品はホットスワップには対応していませんので、メイン電源がオンの状態でのHDD抜き差しは行わないでください。**

■HDDセレクトスイッチについて

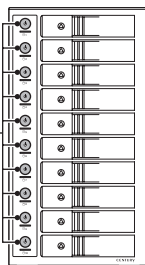
・HDDを複数台搭載してHDDセレクトスイッチで使用するHDDを選択する場合は、**必ず１～5段目から１台以上、6～10段目から１台以上の計2台以上**を選択してください。

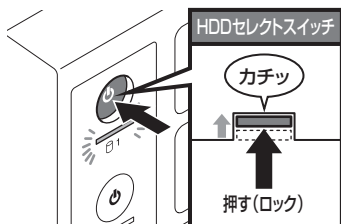
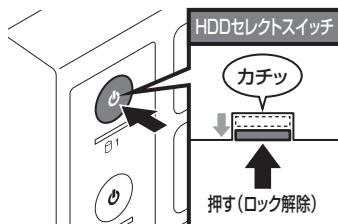
【例】HDD を複数台搭載しているときの選択方法

・次の図のように選択すると、HDDが認識されませんのでご注意ください。

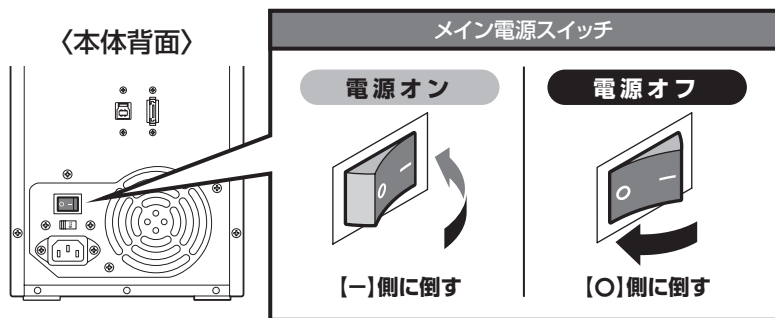
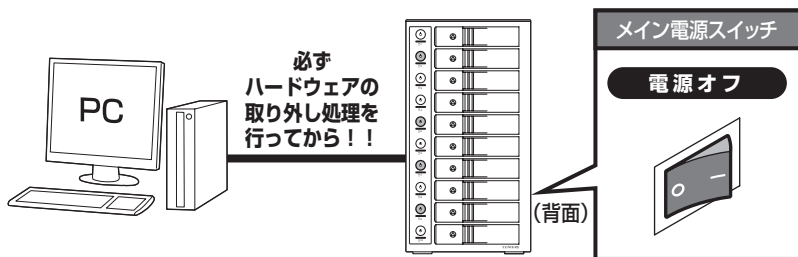
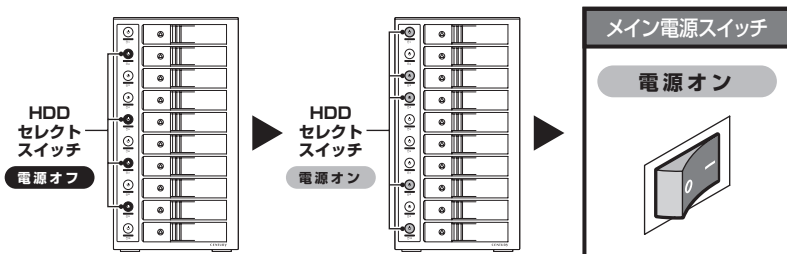
【例】HDD が認識しない例

【使用するHDDを選択し、電源を投入する】

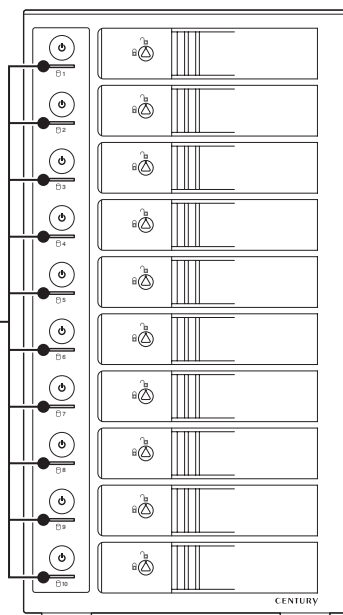
手順1. メイン電源スイッチがオフになっていることを確認し、使用したい段のHDDセレクトスイッチをオンにします。

〈例1〉2、5、7、9段目のHDDを使用する

〈例2〉すべての段のHDDを使用する

■HDDセレクトスイッチのオン・オフ方法

電源オン

電源オフ

※HDDが入っていない段のHDDセレクトスイッチはオフにしてください。

手順2. 使用したい段のHDDセレクトスイッチがオンになっていることを確認し、背面のメイン電源スイッチをオンにします。

・他の段のHDDを使用したい時は、PCと接続されている場合はハードウェアの取り外し処理を行い、メイン電源スイッチをオフにしてから、再度使用したい段のHDDセレクトスイッチを操作してください。
→P.35【ハードウェアの取り外しについて】

〈例〉2、5、7、9段目のHDDをオフにして、1、3、4、8、10段目のHDDをオンにする

【ステータスLEDについて】

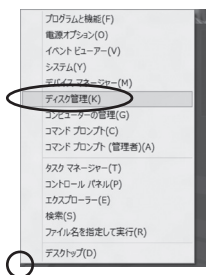
本製品のステータスLEDは次のような動作を示します。

本体の動作	ステータスLEDの状態
HDD未挿入	HDDを挿入していない段のLEDは消灯します。
HDD挿入	HDDを挿入した段のLEDが青色に点灯します。
HDDアクセス時	アクセス中はLEDが青色⇔ピンク色に点滅します。
PC未接続時	PCにUSB/eSATAケーブルを接続していないときはすべてのLEDが消灯します。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

> ※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。
> ※フォーマット済のHDDと新しいHDDを混在させた場合、ドライブが多数表示され、間違えやすい状態になります。
> 初期化を行う場合は、混乱を避けるために新しいHDDのみをセットして初期化を行うことをお勧めいたします。

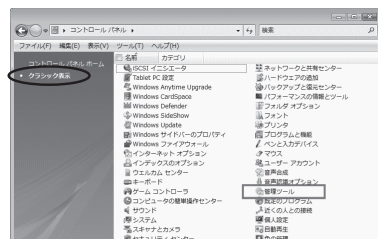
■Windows 8、Windows 7、Windows Vistaの場合

1.

□Windows 8

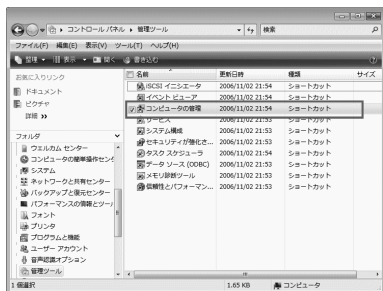
画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。
その後は手順**3.**にお進みください。

□Windows 7

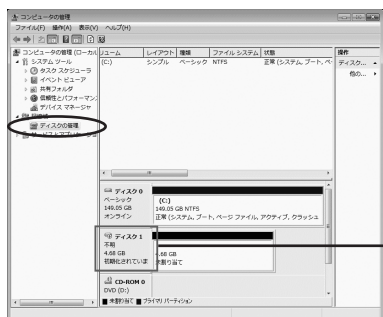
【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

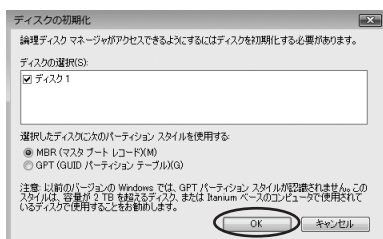
※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※ このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

ディスクの初期化(I)
プロパティ(P)
ヘルプ(H)

【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

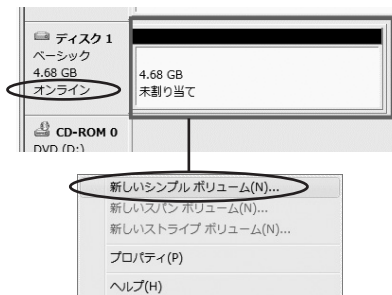
4.

【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

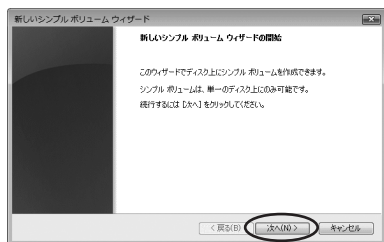
※パーティションスタイルについて
2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。
GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。
GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

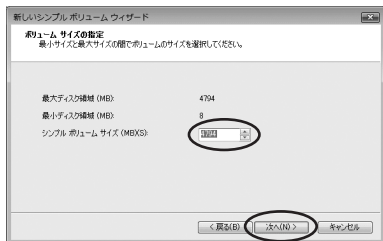
【領域の確保とフォーマット】

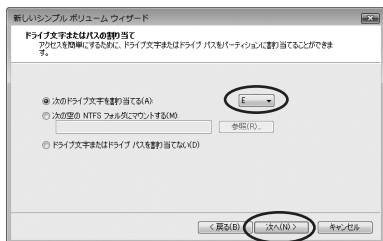
5.

ディスク 1
ベーシック
4.68 GB
オンライン
4.68 GB
未割り当て
CD-ROM 0
DVD (D:)
新しいシンプル ボリューム(N)...
新しいスパン ボリューム(N)...
新しいストライプ ボリューム(N)...
プロパティ(P)
ヘルプ(H)

【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

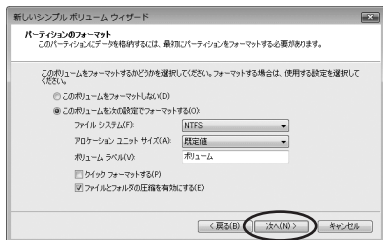
6.

【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。
特に指定しなければ、最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ、空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【領域の確保とフォーマット】

9.

【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

・ファイルシステム
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

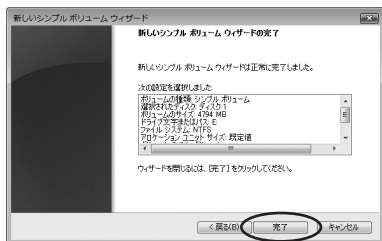
・アロケーションユニットサイズ
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

・ボリュームラベル
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

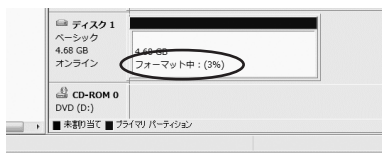
・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

10.

【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

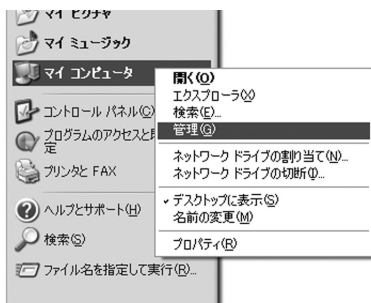
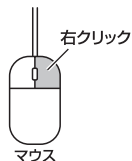
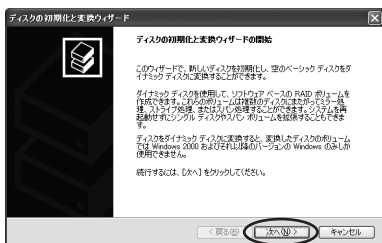
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

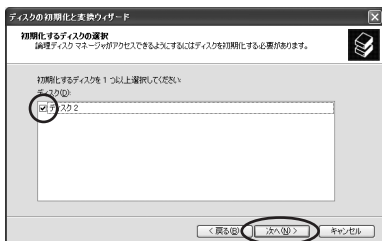
11.

これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

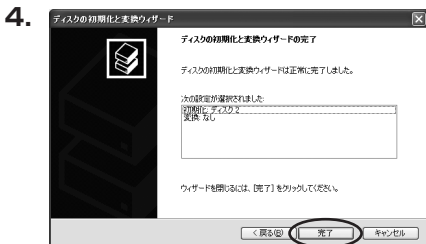
【領域の確保とフォーマット】

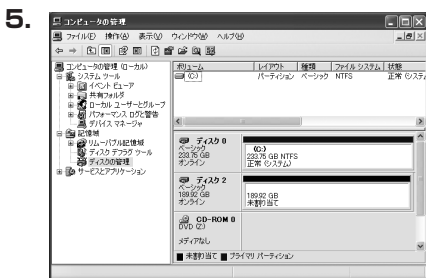
■Windows XPの場合

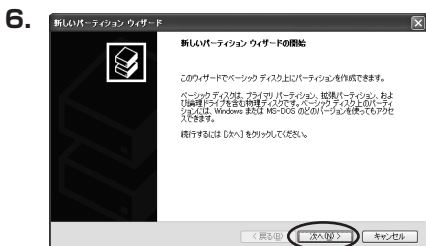
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

1.

スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

2.

「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

3.

「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.

「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.

次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。

6.

「パーティション作成ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】

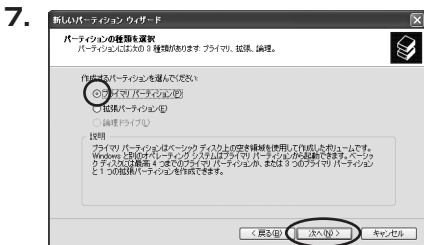
7.

新しいパーティション ウィザード

パーティションの種類を選択
パーティションには次の 3 種類があります: プライマリ、拡張、論理。

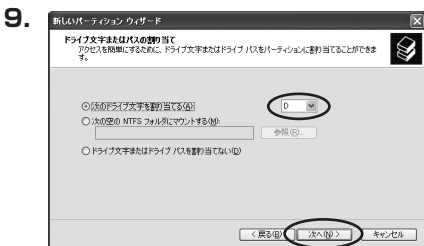
作成するパーティションを選んでください:
プライマリ パーティション(P)
拡張パーティション(E)
論理ドライブ(L)

説明
プライマリ パーティションはベーシック ディスク上の空き領域を使用して作成したボリュームです。Windows と別のオペレーティング システムはプライマリ パーティションから起動できます。ベーシック ディスクには最高 4 つまでのプライマリ パーティションか、または 3 つのプライマリ パーティションと 1 つの拡張パーティションを作成できます。

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※１つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

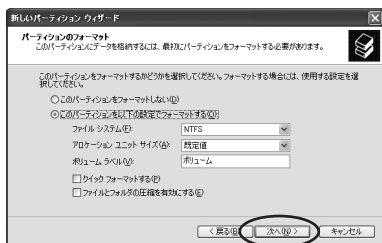
8.

「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.

「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※ Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

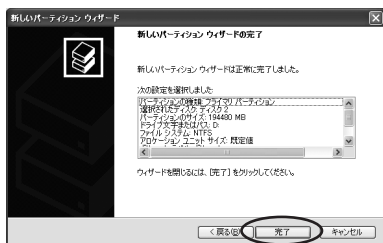
・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

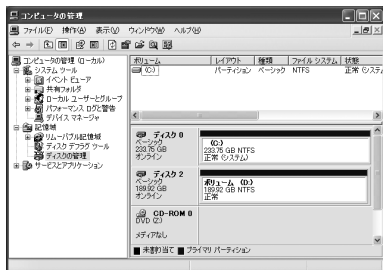
・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

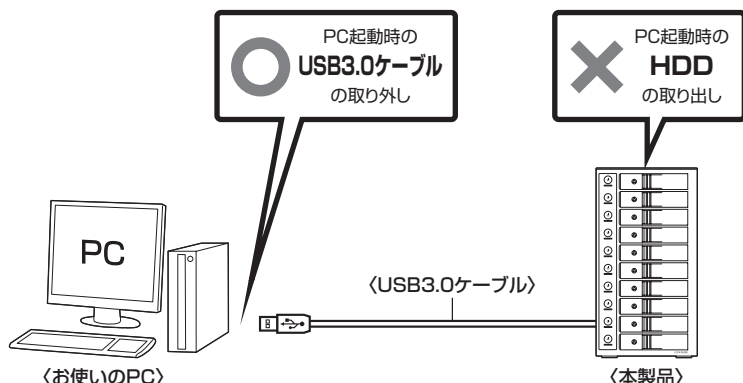
【領域の確保とフォーマット】

11.

「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

12.

フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
・フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。
※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。

1．本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。
取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
デバイス名は以下のように表示されます。

- **Windows XP……… USB大容量記憶装置デバイス**
- **Windows Vista … USB大容量記憶装置**
- **Windows 8/7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge**

※搭載したHDDを個別に取り外すことはできません。
あらかじめご了承ください。

2．取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
メイン電源スイッチを切ってケーブルを取り外してください。

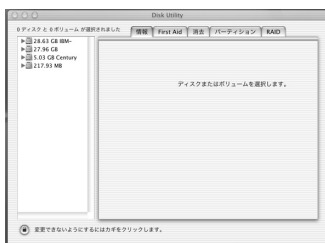
※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Macでの使用方法】

Mac OS XではMac OS標準のドライバを使用します。

※あらかじめ Mac OS 9.x で初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。
Mac OS X でのフォーマットは、OS標準の「Disk Utility」を使用します。

※フォーマット済のHDDと新しいHDDを混在させた場合、ドライブが多数表示され、間違えやすい状態になります。
初期化を行う場合は、混乱を避けるために新しいHDDのみをセットして初期化を行うことをお勧めいたします。

1.

「Disk Utility」を起動します。
※「Disk Utility」は、アプリケーション＞Utilityの中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
本製品は、
「xxGB（HDD容量）xxxxxx（HDDのモデル名）media」
と表示されます。

これをクリックして選択します。

2.

接続されているディスクの情報が表示されます。

3.

上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

・**ボリュームの方式**
作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。

・**ボリューム**
メディアの分割状況が表示されます。

・**ボリューム情報**
ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

・**名前**
作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

・フォーマット
作成するボリュームのフォーマットを選択します。
「Mac OS標準」「Mac OS拡張」「UNIXファイルシステム」「空き領域」が選択できます。
通常は「Mac OS拡張」を選択してください。

・サイズ
作成するボリュームのサイズを変更できます。

・オプション
「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作するドライバをインストールします。

・分割
選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

・削除
選択されているボリュームを削除します。

・元に戻す
直前の変更を元に戻します。

4.

すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.

パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合は、このアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

Macでの使用方法

【トラブルシューティング】

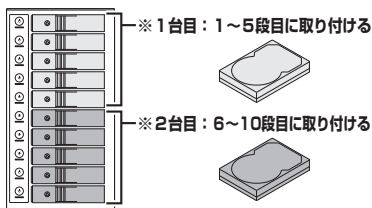
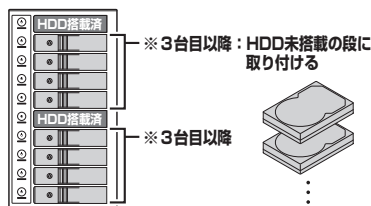
主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下の点をご確認ください。

・各接続ケーブル、専用ACケーブルが正しく接続されているか
・ステータスLEDが正しく点灯しているか
・正しくドライバがインストールされて動作しているか
・I/Fのドライババージョンは最新か
・eSATA I/Fの仕様はポートマルチプライヤーに対応しているか
・Windows XPに2TB超のHDDを接続した場合、OS側の仕様で認識されません。
　2TBまでのHDDをご使用ください。
・HDDが２台以上搭載されているか、また、次の図のようにHDDを取り付けているかご確認ください。

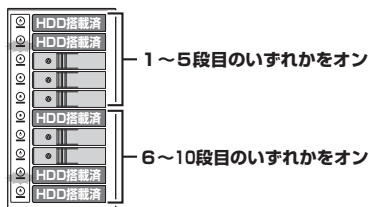
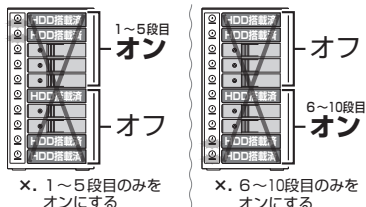
～ HDDの接続順について～

※本製品にHDDを取り付ける際には、次の図のように取り付けを行ってください。

～ HDDセレクトスイッチについて～

※HDDを複数台搭載してHDDセレクトスイッチで使用するHDDを選択する場合は、**必ず１～５段目から１台以上、６～10段目から１台以上の計2台以上**を選択してください。

【例】HDD を複数台搭載しているときの選択方法

※HDD が認識しない選択例

×．１～５段目のみをオンにする　×．６～10段目のみをオンにする

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうかが異なります。詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。
また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

■スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする（Windows/Mac）

本製品はスリープに対応しておりません。スリープする前に取り外しを行ってからスリープを行ってください。

■eSATA接続時のみ2TB超のHDDが認識できない、または容量を誤認識してしまう

ご使用のeSATAインターフェイスが2TB超の容量に対応していない可能性がございます。
ご使用のeSATAインターフェイスの仕様をご確認ください。

■eSATA接続時、1台のHDDしか認識されない

ご使用のeSATAインターフェイスがポートマルチプライヤーに対応していない場合、1台のHDDのみが認識される状態になってしまいます。
ポートマルチプライヤー対応のeSATAインターフェイスを別途ご用意して、接続を行ってください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をオンにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。
本製品の電源はオフの状態で各ケーブルを接続し、メイン電源スイッチをオンにしてください。

■Windows起動後にeSATA接続すると認識されない

eSATAのホストアダプタの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプタの仕様をご確認ください。
また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。
この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

【トラブルシューティング】

■2TB以上のボリュームを作成したが、フォーマットしようとすると2TBで分割されてしまう（Windows 7、Windows Vista）

2TBを超えるボリュームを使用する場合は、HDDの初期化形式をGPT形式にする必要があります。
MBR形式で初期化を行っていないかご確認ください。

■2TBのHDDを接続したのに容量が1.8TB程度になってしまう

計算方法に違いはないかご確認ください。
ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を
・1MB = 1,000,000 バイト
で計算した値で示しています。
それに対し、一般的には、
・1KB = 1024 バイト
・1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト
・1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト
・1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト
です。
たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、
・2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約1.8 TB
となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。
このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■eSATA接続したが、HDDを10台全部を認識しない

eSATAインターフェイスによっては、ポートマルチプライヤーの認識台数に制限がある場合がございます。
ご使用のeSATAインターフェイスの仕様をご確認ください。

■CIF-eSATAP2R5のRAIDユーティリティで5台までしかHDDを認識しない

ユーティリティ側の仕様となり、制限事項となります。
その他、他社製のRAIDコントローラでも同様の制限が出てしまう可能性がございます。
ご使用のRAIDコントローラの仕様をご確認ください。

■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない（Windows）

ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。
USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。
ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

■マイコンピュータにHDDの一部が表示されない（Windows）

ドライブレターを "Z" まで使用していないかご確認ください。
Windows側の制限として、HDD、光学ドライブ、USBメモリ等のボリュームに割り当てられるドライブレターは "C"～"Z" までとなり、ドライブレターの範囲を超えたボリュームは認識されません。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
本書の【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

・Windowsでお使いの場合→P.23【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
・Macでお使いの場合→P.37【Macでの使用方法】をご確認ください。

■HDDの回転音が安定せず、認識しない

HDDの台数に比例して消費電力も大きくなりますので、HDDの台数を減らして症状が変わるかご確認ください。
また、コンセントがタコ足配線になっていると、電圧が低下してHDDの動作に支障が出ることがございます。
コンセント周りの配線をご確認ください。

【FAQ】

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。
ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：本製品の電源を入れたままHDDの抜き差しが可能ですか？

A：対応しておりません。
HDDの抜き差しを行う場合は、必ず本製品のメイン電源スイッチをオフにした状態で行ってください。

Q：HDDは1台のみでも使用できますか？

A：本製品を使用するためには最低２台のHDDが必要になります。

Q：eSATA、USBをそれぞれ別のPCに接続して同時に使用することは可能ですか？

A：残念ながらできません。

Q：どんな形式のHDDが接続可能ですか？

A：3.5インチサイズのシリアルATA（SATA）HDDが接続可能です。
パラレルATA（IDE）やSAS、SCSI HDDは接続できません。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象のOSとしては、
●Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP
●Mac OS 10.8 / 10.7.4 / 10.6.8
を対応OSとしています。
それ以外でのOSに関しては動作確認を行っておらず、サポート外、自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD/SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

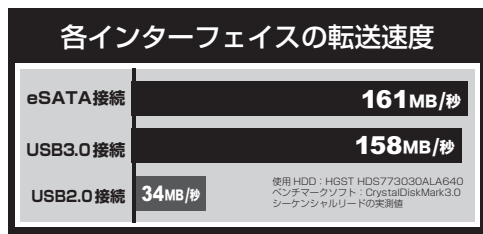
Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続で、かつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。
ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。
※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Q：横置きでの使用は可能ですか？

A：本製品は『縦置き専用』です。横置きや逆向き、フロントドアを下にしての設置、使用はできません。

Q：USB3.0接続とeSATA接続はどちらが転送速度が速いですか？

A：お使いの環境やHDDにより異なりますが、弊社の実測ではeSATAの方がわずかに転送速度が早い結果が出ております。

※弊社テスト環境での実測値となります。転送速度はご使用の環境により異なりますので、あらかじめご了承ください。

【FAQ】

Q：HDDにアクセスしていないのに、ステータスLEDが青色⇔ピンク色に点滅します。故障ですか？

A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q：30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません。故障ですか？（Windows）

A：HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。
フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。
詳しくは、P.23【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

Q：HDDのS.M.A.R.T情報が正しく表示されません。故障ですか？

A：本製品からのS.M.A.R.T取得は対応しておりません。あらかじめご了承ください。

― ご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原240-9
【TEL】04-7142-7533（平日 午前10時～午後5時まで）
【FAX】04-7142-7525
【web】http：//www.century.co.jp/【e-mail】support@century.co.jp
～お願い～　修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

この度はセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記e-メールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

【e-mail】call@century.co.jp　【web】http://www.century.co.jp/call.html